

目次 Contents

さあ始めましょう ー手引の使い方ー	5
はじめに	10
1課 ナアマンーアラムの將軍	11
2課 ヨナー 敵国に遣わされた預言者	16
3課 ヨシヤー 若き改革者 I	21
4課 ヨシヤー 若き改革者 II	26
5課 ダニエルー 祈りの人 I	30
6課 ダニエルー 祈りの人 II	34
7課 エズラー 律法に生きる学者 I	39
8課 エズラー 律法に生きる学者 II	44
9課 ネヘミヤー 城壁再建に取り組んだ総督 I	48
10課 ネヘミヤー 城壁再建に取り組んだ総督 II	53
11課 まとめ	58

1課

ナアマン—アラムの將軍

列王記 第二 [下] 5章

ナアマンは、イスラエルのすぐ北に位置するアラムの王に仕える將軍でした。彼は、不治の病に侵されていたため、北王国イスラエルの預言者エリシャ（エリヤの後継者）に助けを求めて出かけて行きました。

Ⅱ 列王記 5:1 – 7

- 1 a. ナアマンはどのような人ですか。1節からわかることをあげましょう。

編集者注) ツアラアト [重い皮膚病] とは、皮膚病の一種で、不治の病と考えられていました。

- b. イスラエルの地から捕えられて来ていた若い娘は、ナアマンの病気を心配して、女主人にどのようなことを言っていますか。彼女は、なぜそのようなことが言えたのだと思いますか。
- c. 捕虜であった少女がそのような提案が出来るのは、ナアマンとその妻の人柄や彼らの関係がどのようであったからだと想像できますか。
- 2 a. ナアマンは、サマリヤ (北王国イスラエルの首都) にいる預言者が、彼のツアラアトを治すことが出来るかもしれないと王に話しました。それを聞いたアラムの王は、この部下のためにどのように動いていますか。
- b. なぜそうしたのですか。

- c. アラムの王から、その家臣であるナアマンを託する旨の手紙を受け取ったイスラエルの王は、この事態をどのようにとらえていますか。

- 3 a. ナアマンは、かつて軍隊を率いて襲撃し勝利を治めたイスラエルに、今度は自分の病気のいやしを求めて向かうことになりました。彼はどのような気持ちで出かけて行ったと思いますか。
- b. 不治の病がいやされると聞いて、遠くまで出かけて行ったナアマンの気持ちや行動に、あなたは共感できますか。

Ⅱ 列王記 5:8 – 19 [19a]

- 4 a. アラムの王の手紙を受け取り、言いがかりをつけられたと感じたイスラエルの王は、エリシャにいさめられ、ナアマンをエリシャのもとに送ります。ナアマンがエリシャの家に行った時、どのようなやりとりがありましたか。
- b. ナアマンは、エリシャがどのような対応をしてくれると期待していたのですか。
- 5 ナアマンは、なぜエリシャの指示に従いたくなかったのだと思いますか。
- 6 a. ナアマンの部下たちは、怒って帰ろうとしているナアマンをどのように説得しましたか (13節)。
- b. 部下の説得を受けて、將軍ナアマンがエリシャのことばに従うには、どのような葛藤があったと思いますか。

- 7 a. ナアマンは、いやされるとすぐに何をしましたか。
- b. この経験から、ナアマンの神に対する考え方はどのように変わりましたか。

- 8 エリシャはナアマンからの贈り物を受け取りませんでした。それはなぜだと思いますか。

- 9 ナアマンは、真の主だけを礼拝すると決心しました。しかし、彼が自分の国に戻った時には、どのような困難があると考えられましたか。

注) 「主」(11、17、18節)は、新改訳聖書では太字で表記されています。これは、イスラエルの神である「ヤハウェ」を表しています。ナアマンが、アラムの神ではなく、イスラエルの神を信じ告白したことがわかります。

リモン(18節)とは、訳すと「雷神」です。アラム地方で崇拜されていた嵐の神として知られています。

Ⅱ 列王記 5:20-27 [19b-27]

- 10 エリシャのしもべゲハジは欲に目がくらみ、ナアマンを追いかけて行き、うそをついて贈り物を受け取ろうとしました。ナアマンは、ゲハジの要望にどう答えましたか。

- 11 a. ゲハジの考え方と行動の何がいけないのだと思いますか。

- b. ゲハジの行動は、ナアマンにどのような誤解を与えてしまうおそれがありましたか。

編集者注) 当時の異教の祭司たちは、働きの報酬として贈り物を受け取っていたようです。

- 12 a. ナアマンから贈り物を受け取ったゲハジは、厳しい罰を受けました。ゲハジは、なぜそこまで厳しくさばかれなければならなかったのだと思いますか(次ページ注を参照)。

注) ナアマンに対してなされた主のみわざを利用して、利益を得ようとしたゲハジは、主人であるエリシャを裏切っただけでなく、主に対して罪を犯したのです。主の預言者のしもべであったゲハジが主のさばきを受けたことは、異邦人のナアマンがいやされて主を知るようになったことと対照的なことでした。

- b. あなたは、誘惑に負けてしまったゲハジの気持ちがわかりますか。

- 13 ナアマンが自分の国アラムに戻った時、宮中の人々や彼の家族はどのような反応をすると思いますか。また、この大きな出来事は何がきっかけで始まりましたか。思い出してみましょう。

❖ まとめましょう ❖

- 1 a. ナアマンはどういう人だと思いますか。たどってきた出来事から想像してみましょう。

- b. ナアマンの病がいやされた一連の出来事を通して、あなたが教えられたことを分かち合いましょう。

- 2 ナアマンは、真の神がどのようなお方であると理解しましたか。

- 3 捕虜として連れて来られていた少女の信仰と主人を気遣う姿勢から、どのようなことを教えられますか。

- 4 ナアマンについて学んだことを、60-61ページにある表に書きとめましょう。

・むすび・

ナアマンは、人格者でアラムの国の優れた指導者でした。全てを兼ね備えたかのように見えるこの人にも、大きな悩みがありました。それは、ツァラアト [重い皮膚病] という病に侵されていたことです。彼は、敵国から捕虜として連れて来ていた少女から神の預言者のことを聞き、彼女のことばにいやしの希望をつなぎます。イスラエルの預言者エリシャに会いに行ったナアマンは、内的な葛藤の末に、預言者のことばを信じて従い、命を得ることが出来たのです。ナアマンは、他の神々を離れ、イスラエルの神のみを拝して生きることを誓いました。

・祈り・

主よ、
あなたを信じる少女のことばによって、
アラムの国の指導者に救いがもたらされました。
小さなものを主のみわざのために用いてくださることを覚えて
賛美します。
ナアマンが自分の思いにとらわれずに、
主のことばに従うことを教えられたように、
私たちにもあなたに聞き従うへりくだった心を与えてください。
また、自分の利益のために主を利用したゲハジは退けられました。
あなたによってなされたことを自分の功績とすることがないように、
私たちを助けてください。

イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。